

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 30 年 2 月 19 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	淋菌／クラミジア同時核酸増幅
検査コード	7672 (7673：淋菌 / 7674：クラミジアトラコマチス)
JLAC10	6B615-0000-064-886-00
診療行為コード	160177650
検体量	うがい液 2.0mL
保存・容器	2 ～ 30℃ ・ Q25 ※ 容器はアプティマ STD うがい液・尿採取セット（Q24 と同一）を使用してください。
実施料（判断料）	286 点（微生物）
所要日数	2 ～ 4 日
検査方法	TMA 法
基準値	陰性

保険収載名称：淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出

保 険 注 釈：ア. 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、クラミジア・トラコマチス感染症若しくは淋菌感染症が疑われる患者又はクラミジア・トラコマチスと淋菌による重複感染が疑われる患者であって、臨床所見、問診又はその他の検査によっては感染因子の鑑別が困難なものに対して治療法選択のために実施した場合及びクラミジア・トラコマチスと淋菌の重複感染者に対して治療効果判定に実施した場合に算定できる。ただし、淋菌抗原定性、クラミジア・トラコマチス抗原定性、細菌培養同定検査（淋菌及びクラミジアによる感染を疑って実施するもの）、淋菌核酸検出又は、クラミジア・トラコマチス核酸検出を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

イ. 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体によるものである。ただし、男子尿は含み、女子尿は含まない。なお、TMA 法による同時増幅法並びに HPA 法及び DKA 法による同時検出法、SDA 法又は PCR 法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法においては咽頭からの検体も算定できる。

《 解 説 》

最近の性感染症は、感染しても無症状であることも多く、比較的軽い症状にとどまる場合も多いとされています。また、クラミジア感染症と淋菌感染症は、混在感染している場合も少なくないため、同時に検査することは、臨床的にも意義が高いと考えられます。

うがい液の採取は綿棒採取に比べ、患者への侵襲性が低く、うがい液を使用した検体の有用性が注目されています。

《検体採取方法》

- 1.生理食塩水 15～20mL を口に含み、顔を上に向けて 15～20 秒間勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。
- 2.うがい液全量をコップに回収します。
- 3.添付のスポイトでうがい液を 2mL 分取し、搬送用チューブへ 24 時間以内に移してください。
(搬送用チューブの黒線と黒線の間に液面があるようにしてください。)